

内閣不支持が急増

集団的自衛権「閣議決定」に国民は反対

▽共同通信（7月1～2日実施）支持47.8% 不支持40.6%

※前回（6月21～22日）から支持は4.3ポイント下がり、不支持は7.6ポイント上昇

▽読売新聞（7月2～3日実施）支持48% 不支持40%

※前回（5月30日～6月1日）から支持は9ポイント下がり、不支持は9ポイント上昇

▽朝日新聞（7月4～5日実施）支持44% 不支持33%

※前回（6月21～22日）から支持は1ポイント上昇、不支持は変わらず

集団的自衛権の行使容認について、反対が半数以上

▽共同通信：「賛成」34.6%、「反対」54.4%

◆質問：日本と密接な関係にある国が武力攻撃を受けたとき、日本が攻撃されたとみなして一緒に反撃する「集団的自衛権」について、政府はこれまで「憲法解釈上、行使できない」としてきましたが、安倍内閣は憲法解釈を変更して行使を容認する閣議決定をしました。あなたは、この行使容認に賛成ですか、反対ですか。

▽読売新聞：「評価する」36%、「評価しない」51%

◆質問：日本と密接な関係にある国が攻撃を受けたとき、日本への攻撃とみなして反撃する権利、「集団的自衛権」についてお聞きします。政府は、憲法解釈を見直して、国民の権利が根底からくつがえされる明白な危険がある場合に、集団的自衛権を必要最小限の範囲で使うことができると決めました。集団的自衛権を限定的に使えるようになったことを、評価しますか、評価しませんか。

▽朝日新聞：「よかった」30%、「よくなかった」50%

◆質問：集団的自衛権についてうかがいます。集団的自衛権とは、アメリカなど日本と密接な関係にある国が攻撃された時に、日本が攻撃されていなくても、日本への攻撃とみなして一緒に戦う権利のことです。これまで政府は憲法上、集団的自衛権を使うことはできないと解釈してきましたが、安倍政権は集団的自衛権を使えるようにしました。集団的自衛権を使えるようにしたことはよかったと思いますか。よくなかったと思いますか。